

# 東京天台

平成二十七年  
春彼岸号

発行所  
天台宗東京教区

杜多徳雄

〒107-0062 東京都港区南青山1-3-22  
TEL.03-5785-3481

<http://www.tendaitokyo.jp/>

## 第50回 天台青少年 比叡山の集い

平成27年8月2日(日)～5日(水)

参加者募集中

「天台青少年比叡山の集い」(以下「青少年」)は、全国の小学六年生から中学三年生までを対象として、毎年八月初旬に行われる研修です。宗祖伝教大師最澄様がそのご生涯を人材育成に捧げたように、未来の人材を育成する大切な行事として、天台宗は大変力を入れております。

昨年の「青少年」は、全国から一八九名の研修生にご参加いただきました。そして、指導を担当したのは、全国天台宗寺院の若い僧侶を中心とした、大学生以上の六八名の若いリーダー達です。リーダーは研修生の安全を第一に、より安心で魅力的な研修となるよう一丸となって指導を



心がけております。

リーダーも研修生も、東京教区からの参加者は全国一の規模を誇ります。研修前日に京都へ向かい、市内の名所を回り、翌日から比叡山に登ります。そこから二泊三日の「青少年」に参加するという日程です。研修生は、総本山延暦寺という特殊な環境の中、「規律と合掌(感謝の心)」をテーマに団体生活を送り、新たな友情を育んでいきます。研修では仏様になれる心を起こす「発心会」をはじめ

め、比叡山中を巡拝し、キャンプファイヤーを行い、研修生同志の絆を深め研修を終えます。研修生に感想を聞くと、「素晴らしい研修体験ができた」、「全国に友人が増えた」、そして「また来年も行きたい」といった感想が多く寄せられます。また、研修生として参加した方が成長し、今度はリーダーとして参加していただいていることから、「青少年」が有意義な体験となっているものと思われまます。

さて、「青少年」はいよいよ今年五〇回を迎えます。比叡山での貴重な体験はもちろん、旅費の負担もないため、研修生やリーダーとして大勢の方に参加していただきたいと思っております。ぜひ菩提寺等を通じて参加の旨をお伝えください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



## 渡邊前天台座主がご遷化



第二五五世天台座主大僧正渡邊惠進猊下が、平成26年11月13日にご遷化されました。明治43年生まれの高104歳。明治時代にご誕生された最後の延暦寺住職でした。本葬は同年12月16日に天台宗務庁において、半田孝淳座主猊下を大導師に、天台宗葬として執行されました。宗内外の多数の宗教者や、一般の信徒、縁者など約800人が別れを惜しみました。

8月には、国連本部で開催された、「ミレニアム世界宗教者平和サミット」において世界の代表的宗教指導者の一人としてご講演され、平和と寛容の精神を訴えられました。座主には任期の定めがなく終身とされますが、平成19年2月、在職10年、満96歳をもって体調不良のため半田猊下に譲職されました。著書「101歳・人生あるがまま」(集英社クリエティブ)の一節より、「あれやれと言われたら、とにかくやってみるんです。言われたことをすぐにやってみる、最後まできっちりやってみる、それが、わしの性分やっただし、生き方やった。」晩年でも日々勉強と規則正しい生活を課されていた、偉大なる宗教者でした。

合掌

## 「現代社会と仏教」

### 入浴の功德

このコラムを皆さんが目にするのは、寒さが和らぎ、春の足音が聞こえてくる頃でしょうか。しかし筆者が記事を書いているのは、これから寒さが本番を迎える、温かいお風呂が恋しい季節です。

お風呂といえは、日本人ほど入浴好きな国民も珍しく、最近では浴室テレビは当たり前のように普及し、音楽鑑賞、ジャグジーはもとよりプラネタリウム付きまであるそうです。

日本におけるお風呂(入浴)とは、衛生面はもとより、癒しや娯楽、コミュニケーションの場であるなど、世界的に見ても独特な文化風習ですが、このような文化が築かれた背景に「仏教」が関わっていることを、皆さんはご存知でしょうか？

あるお経に、香城というお医者さんが、お釈迦様と弟子たちに入浴を奨めたところ、お釈迦様が入浴の功德について説かれた、と書かれており、湯浴みをすれば、病を除き福を得られるとして、入浴を奨励しています。日本では仏教の伝来とともに、寺院には湯屋(温室)と呼ばれる入浴

施設が造られ、僧侶に限らず人々にこれを開放し、布教や勧進、追善法要などとあわせて「施浴」を行ったことから、お風呂に入るという習慣が広まったと言われています。

もつとも、当時のお風呂は蒸気にあたる蒸し風呂であり、現在のように湯船に浸かつて「あー極楽、極楽」となるのは、だいぶ時代が下つてからのようですが、この思わぬ口から出てしまう「あー」も、ゆつくり長く息を吐いて、ゆつくり長く息を吸うことで身心を安定させる「坐禅」と共通する呼吸法で、お湯に浸かっている時は無意識にこの呼吸をしているのです。

このように私たちの日常生活の一部にも仏教に関係することが生きています。仏さまにつままれて生かされていることを自覚し、お風呂に入っている時のように穏やかな心で日々を過ごしたいですね。



第45回  
**一隅を照らす運動**  
東京大会

平成27年6月25日(木) 午後1時 開会

浅草公会堂

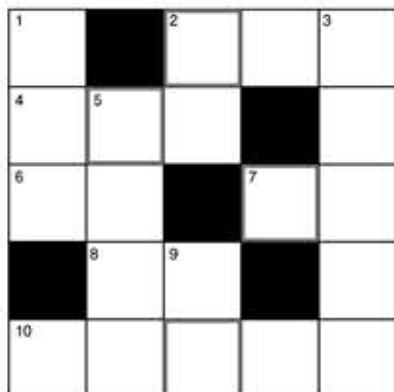
第1部

**法要**

導師 輪王寺門跡門主  
神田秀順大僧正  
天台宗東京教区寺院  
天台声明音律研究会  
天台雅楽会  
叡山講福聚教会

第2部

**南こうせつ  
コンサート**



**てんぐだいで  
クロスワード**

タテのカギ、ヨコのカギにしたがいマスに言葉を入れてください。全てのマスを埋めたら、4つの太枠マスの文字を並び替えて、ヒントをもとに言葉を作りましょう。

ヒント 花まつり

**タテのカギ**

1. 風が吹けば〇〇〇が儲かる。
2. 小さいけれどよく働きます。
3. 明治・〇〇・昭和・平成。
5. 必ずタネがあります。
9. 軍事〇〇。秘密〇〇。

**ヨコのカギ**

2. 〇〇〇も鬻(えくぼ)。
4. 平安時代の日本のサッカー!
6. 「東海道中膝栗毛」の主人公。〇〇さん喜多さん。
7. 南国の植物といえば?
8. かぐや姫は〇〇に帰りました。
10. クラシックバレエの定番「〇〇〇〇〇の湖」

※答えは4頁下部に

**仏教豆知識 ⑧**

**「花まつり」**

お彼岸が終わって4月になると、屋根や柱を美しい花で装飾した花御堂の中に誕生仏をおまつりし、甘茶をかけてご供養する行事が各地で催されます。通常8日に行われるこの行事は、「花まつり」といってお釈迦様のお誕

生を祝福する行事です。「花まつり」の名前の由来でもある花御堂は、お釈迦様が美しい花の咲く木の下でお生まれになったことにちなんで設えます。甘茶をかけるのは、お釈迦様のお誕生を祝って龍王が甘露の雨を降らせ

たとという伝説に基づいています。また誕生仏はお釈迦様お誕生の際のお姿をかたどつたものといわれます。お釈迦様はお誕生の後すぐに七歩歩き、右手で天、左手で地を指して「天上天下唯我独尊」とおっしゃったと伝えられています。この言葉には色々な解釈がありますが、その一つに「人は誰でもこの世に一つだけのかけが

えのない命を生きている」というものがあります。日々の生活に忙しく命の尊さを忘れがちな私たちが、「花まつり」ではお釈迦様に甘茶をおかけしながら、命の尊さに思いを致してみてはいかがでしょうか。



**托鉢報告**

平成26年12月13日(土)、浅草寺境内において恒例の全国一斉托鉢を行いました。皆様より頂戴しました浄財は合計300,063円となり、下記の通り寄附をさせていただきました。

.....【寄付先】.....

地球救援事務局	150,000円
あしなが育英会	150,000円
港区社会福祉協議会	30,063円

ご協力ありがとうございました。

天台の寺めぐり 39 五反田周辺

安楽寺



本尊阿彌陀如来

当山は弘治二年(1556)の創建で、当時の境内は湧水豊かな池畔に萩が生い茂り、別名「萩の寺」とも呼ばれた。江戸中期、明治中期にかけては、今の新橋より芝大門、高輪村を始め近隣村落に一大念仏講を立上げ、毎年十月十五日には門前に市が立ち並び、十夜念仏(十日間念仏を唱える法要)が盛大に行われ多くの参拝者で溢れた。また

寶塔寺

江戸時代には京よりの勅使が品川宿に泊まられる際に、火災等があった場合の緊急避難場所に指定されるなど、重要な役割も務める寺であった。本尊は阿彌陀如来であるが、戦災で脇仏の観音菩薩と勢至菩薩が焼失した為、近年に篤信の檀徒により復元された。

当山は応永八年(1401)品川の海沿いに創建され、後に目黒川沿いに移転したが、度重なる目黒川の水害を避ける為に、万治年間(1658~61)に現在の地へ移った。本堂には本尊阿彌陀如来像や平安中期作の聖観世音菩薩などが安置されている。大師堂には厄除けや大漁祈願にご利益のある元三大師像などが



寶塔寺本堂

祀られ、その昔は多くの漁民達に篤く信仰されたという。当時は富士山を一望できる風光明媚な寺として江戸名所図会(地誌紀行図鑑)にも描かれ、今も都会の中に美しい佇まいを守っている寺である。

徳藏寺

当山は天正年間(1573~91)中頃の創建で本尊は阿彌陀如来。境内には大きな二体の地藏尊(石像)が祀られている。その

一つは塩地藏と呼ばれ、昔は御供物の塩を湯船に入れて入浴すると病を鎮め、特に眼病に効果があると言われた。もう一つの地藏尊は三輪地藏と言いい、江戸城大奥で五代將軍綱吉に仕えた三輪の菩提を弔う為に安置された。生前、虫菌に悩まされた三輪が地藏尊となつて、菌の病を治して下さると信仰を集めるなど、当病平癒を祈る庶民に大変親しまれた寺である。



クロスワードの答え:あまちゃ(甘茶)



三輪地藏尊と塩地藏尊